

2026 年 9 月 24 日

各位

株式会社ユニバンス

バイオディーゼル・プロジェクトが次のフェーズへ！
～外部企業への B100 テスト供給、実用化に向けた検証をスタート～

当社は、社内公募型の新規事業開発プログラム（UNIVANCE START-UP PROGRAM）から誕生した「バイオディーゼル・プロジェクト」において、これまで数多くの精製試験を重ね、精製プロセスの最適化に取り組んできました。

その結果、実証実験に必要な品質水準を安定的に確保できる見通しが立ってきたことから、次のフェーズとして、愛知ラインリック株式会社様へのバイオディーゼル燃料のテスト販売および供給を開始し、実際の運用環境における実証実験に着手したことをお知らせいたします。

【背景とこれまでの取り組み】

持続可能な社会の実現に向け、輸配送や産業の現場における CO₂ 排出量削減が喫緊の課題となっています。当社ではこの課題解決を目指し、食用の廃油を再資源化したバイオディーゼル燃料を活用するバイオディーゼル・プロジェクトを立ち上げ、燃料の精製に取り組んでまいりました。自動車部品事業で培ってきた、ものづくりの製造・管理技術を、燃料精製に応用することで、より安価で品質の安定したバイオディーゼル燃料の製造を目指しています。

これまで数多くの精製試験を重ね、精製プロセスの最適化を追求した結果、バイオディーゼル協議会の品質基準をはじめとする各種基準値を定常的に満たす燃料の製造が可能となりました。また、社用トラックを用いた運用試験を実施し、バイオディーゼル燃料の有効性や運用上の課題について評価を進めてまいりました。

【今回の実証テストの概要】

今回の取り組みは、実用化に向け、実際に稼働する車両にて B100 燃料を使用し、エンジンおよび排気系への影響や耐久性、追加的なメンテナンスの必要性および環境負荷低減効果を検証することを目的としています。

- ・実施期間： 2026 年 7 月～2028 年 2 月（予定）
- ・供給先： 愛知ラインリック株式会社
- ・使用（検証）車両： 2t トラック
- ・使用燃料： B100（バイオディーゼル濃度 100%）
- ・検証内容：
 - ① 実際の運用下におけるエンジン・排気系への影響および耐久性の確認
 - ② 安定した燃料供給体制および運用オペレーションの確認

【今後の展望】

本実証テストを通じて得られたデータや外部パートナーからのフィードバックをもとに、さらなる品質向上および供給体制の構築を進めます。将来的には本格的な商用化を目指すとともに、地産地消型のエネルギーエコシステムの創造とそれによる脱炭素化の推進に貢献してまいります。

■愛知ラインリック株式会社 概要

設立：1970 年

所在地：愛知県豊橋市

代表者：代表取締役社長 福井康雄

URL: <https://aichireinlich.com/company/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ユニバンス

新事業開発室 高木：080-7627-3351 ／清水：080-9697-4886



愛知ラインリックの福井代表(右)と当社の本プロジェクト担当の高木(左)。

今回の検証で使用する車両を背景に。